

# 藤原バレエスクールだより

## ②

第26回発表会

平成25年10月20日(日)

(会場) サンシティ越谷市民大ホール

発表会の練習が始まり、ひとりの意識の変化も出てきました。今回の発表会は1人の作品も多く、生徒の自主的な練習も多くみられ、成果が楽しみです。

第3部で行います彩は(彩の国)埼玉を意識し、埼玉で生まれたわらべ歌を取り入れ、日本古来の色を題名にして武州粋鼓会のみなさまの和太鼓の生演奏もお願い致します。迫力ある舞台を再演致します。

父のデザイン、制作をしてくださいました彩の文字のバックも華をそえて来ています。

ここで父の話を書き添えてください。父は藤原バレエスクールの小道具はもちろんです、大道具の制作も手掛け、こんな物が欲しいと言えれば想像以上の物が出来上がりました。写真好きも本格的になり、プログラムの写真撮ったの舞台の写真もすべて父が撮りました。プロダクションでも父の担当でした。でも何より父の話が好きの父はお母様方の会話も楽しいようでした。

2004年、第21回発表会の1週間前、突然倒れた翌日、母も父の作品が何かかたがいで舞台にかかわって見守ってくれています。

父や母の物作りのこだわりを少しでも引き継ぎたいと思います。余談ですが、ダイハツのマークは父のデザインなんです。

藤原康子



27回舞踊フェスティバル プリムローズ

発表会の練習が始まり、ひとりの意識の変化も出てきました。今回の発表会は1人の作品も多く、生徒の自主的な練習も多くみられ、成果が楽しみです。

第3部で行います彩は(彩の国)埼玉を意識し、埼玉で生まれたわらべ歌を取り入れ、日本古来の色を題名にして武州粋鼓会のみなさまの和太鼓の生演奏もお願い致します。迫力ある舞台を再演致します。

父のデザイン、制作をしてくださいました彩の文字のバックも華をそえて来ています。

ここで父の話を書き添えてください。父は藤原バレエスクールの小道具はもちろんです、大道具の制作も手掛け、こんな物が欲しいと言えれば想像以上の物が出来上がりました。写真好きも本格的になり、プログラムの写真撮ったの舞台の写真もすべて父が撮りました。プロダクションでも父の担当でした。でも何より父の話が好きの父はお母様方の会話も楽しいようでした。

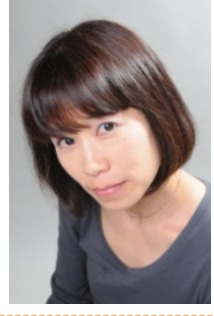
2004年、第21回発表会の1週間前、突然倒れた翌日、母も父の作品が何かかたがいで舞台にかかわって見守ってくれています。

父や母の物作りのこだわりを少しでも引き継ぎたいと思います。余談ですが、ダイハツのマークは父のデザインなんです。

藤原康子

### 藤原バレエスクール (卒業生) 先生紹介

1、バレエを習ったきっかけ 2、印象に残っている作品 3、メッセージ



山田圭子先生 (蒲生教室)

1、姉が習っていたので、母が送迎に私を連れて行っただけです。背中にもおぶられていた私は母の背中からレッスンを覗いてた感じで、いつの間にか列に入って真似ていたらしいです。

2、オーロラ姫、カラボス 姫になれるのはバレエの舞台だけ、充分満喫しました。カラボスは、かなりなりきって踊った記憶が、脚の動きや手の使い方の独特なところが気に入ってました！

3、まだまだと思ってた発表会まで、あと4カ月、振付を完璧にマスターし、体力もパッチリになるまで大変な作業だと思いましたが、2年に1度の大イベント！本番までケガしないよう頑張りました！

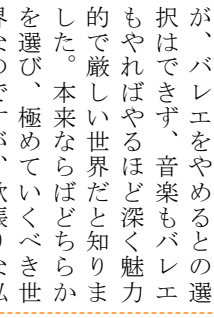


小宅郁江先生 (武里カルチャー)

1、バレエを始めたのは5歳、何もわからずいつの間にか、最初はバレエシューズで私服のまま大先生に手取り足取り教えていただき、すぐ半年後の発表会に参加させてもらった事が記憶に残っています。

2、一番印象に残っている作品はやはり卒業時の白鳥、一番緊張した思い出でした。また記念公演ドンキホーテ全幕でのジプシーダンス、とても楽しめたのと同時に本物のギターを見えない後方に投げる！(失敗するかも、誰かに当ててしまうのでは、ギター破壊!)そんなドキドキを味わい、本番はしっかり成功でしたが、よい思い出です。

3、10代の頃、ピアノと勉強と忙しくなりました



美濃和希先生 (本部)

1、同じ幼稚園に通っていた友達藤原バレエスクールに通っていて、「見に来る？」と誘われたのがきっかけでした。母は私が「やりたい！」と言いつつ、うなづいて、「やりたい！」と習いの定、「やりたいう！」と習い始めることになりました。が、まさかこんなに長く続けることになるとは思ってもなかったそう。(笑)

2、今まで多くの素敵な役や作品を踊らせていただきましたが、1番印象深いのは第21回発表会での「フロリナー」です。初めての1人でのヴァリエーション、初めてのグラン・パ、そして初めて、「これを踊りたい！」とずっと思っていた役を実際に踊らせていただくことが、先生への感謝とうれしさの嵐とともうに踊れない悔しさ、ソロ



荒川里織先生 (本部)

1、私は3歳から始めました。家族でデイズニールンドへ行き、お昼ごはんを食べながら、母が女の子たちに笑われたそうです。イラツとして後ろを振り返ってみると、小さな私が入園の音楽に合わせてノリノリで踊っていたそうです。そして、母が私に習わせてくれました。ちなみに、小さい頃は問題児だったように、「やだー」と言っていて、踊らなかつたことも多かったみたいです。

2、卒業の舞台が1番！と思ったのですが、印象に残っているのはゼル2幕を踊ったことです。当時20歳だった私にはとても難しく、踊りも表現も格好がつかなくて、とても苦労したことが覚えています。時間が23時近くなると、多々ありました。しかし、学ぶことも多く、自分を成長させた作品です！

3、私がバレエを始めた頃は、生徒が200人くらいいました。自分がこまめに練習して教える立場になるとは想像もしていませんでした。人生何が起きるか分からないし、たくさんの経験が将来につながることもあるので、努力を惜しまず何でも長く続けることが大事だと思います。

グランパの難しさや怖さなど多くのことを経験し学べた舞台でした。舞台が終わって安堵感と失敗の悔しさなフロリナを踊れた嬉しさなどいろいろな思いがこみ上げてきて思わず楽屋で泣いてしまいましたが、今でも恥ずかしい思い出です。

3、バレエは楽しいながらも厳しさがあって、なかなか思うように上手にできなかったりすることも多いですが、でも、そんなつらいときこそ、踊ることの楽しさを一番感じてほしいなと思います。何より私自身、「バレエが好き！」という思いだけでここまでやってきてしまいました(笑)

困難にめげずに続けた先に嬉しいことが待っていて、またバレエが好きになる、という繰り返しでした。今までできなかったことができるようになるだけでも、普段のレッスンは倍楽しく思えました。

私はまだまだ教師として未熟者ですが、そうやってみんながどんどんバレエを好きになっていく、その手伝いを少しでもできたら、と思います。



彩の紹介

◆2001年、2004年に発表しました彩の舞台写真です。10月20日の発表会で再演致します。

特別講師 岩淵 美希 (いわぶち みき)

新潟市、若林バレエスタジオにて4歳よりバレエを始める。若林美江、遠藤展弘、渡辺珠実に師事。

2004年～2005年 ワガノワバレエ・アカデミーに留学し タチアナ・A、ウダレンコワに師事する。

2007年～スロバキア国立劇場入団「眠れる森の美女」のリラの精、「くるみ割り人形」オリエンタル、ジョージ・バランシンの「セレナーデ」、ジェームス・クデルカ振付「Four Seasons」、マリオ・ラダツォフスキーの作品、2008年 16回ワールドステイツバレエ・ガラ公演にてハンガリーなどでキリアン振付「Un Ballo」等、バレエ団のシーズン約50の公演に出演。また、「VOGUE」イタリア版、「LA FEMME」スロバキアのファッション誌のモデルに起用される。

- 2006年 ザ・バレコン仙台 シニア 2位
- 2007年 埼玉全国舞踊コンクール 成人の部 2位
- 2009年 International Ballet Competition in Brno (チェコ) ファイナリスト
- 2012年 ルーマニア国立劇場入団
- 2013年 東京シティバレエ団 入団



里織先生のバレエ講座-②

前回の講座は役に立っているでしょうか？ 基本的なことですが、正確に踊ることが大切ですので今回も一緒に学んでいきましょう。

☆バーでよく使う足の動き☆

\*アン・ドウオール(en dehors)→「外側へ」の意味。脚を付け根から外向きに開くこと。<脚を回す方向を指すとき>外回し。動脚を前→横→後ろの順に動かす。

<回転の向きを指すとき>外回り。動脚の方向に回る。

\*アン・ドウダン(en dedans)→内側への意味。

<脚を回す方向を指すとき>内回し。動脚を後ろ→横→前の順に動かす。

<回転の向きを指すとき>内回り。軸足の方向に回る。

\*ア・テール(a terre)→「地面に」の意味。つま先を床につけた状態。

\*アン・レール(en l'air)→「空中で」の意味。つま先を空中に浮かせた状態。

\*バットマン(battement)→「打つこと」の意味で、片足で蹴り出すような動きのこと。バットマン・タンデュ、バットマン・フラップなど様々な種類があるが、ただ「バットマン」といえば高く脚を蹴り上げるグラン・バットマンを指すことがほとんど。言葉の意味がわかると、とても楽しく踊ることができます。

発表会に向けて頑張りましょう！！バレエには、体の方向・腕・脚のそれぞれに基本となるポジションがあり、正しく守って踊ることで美しいバレエが踊れるようになります。

小宅郁江先生のご実家です

小宅楽器 音楽教室

スクール 営業時間:あさ10:00～よる9:00 TEL.048-735-5396

生徒募集

無料おためしレッスン受付中 初心者歓迎!

2さいからのリトミック、ピアノ、バイオリン、フルート、うた(童謡～クラシック)、ギター(エレキ、フォーク、クラシック)

★曜日・時間などのお問い合わせは TEL.048-735-5396

本校は1977年にせんげん台に創設し、現在に至っております。早36年を迎えます。当時は 稽古場にて合宿もしました。

・お問合せ→048-975-6187

〒343-0037 埼玉県越谷市恩間新田402-1



藤原バレエスクールせんげん台教室 (本部)